

2025 年度 医療安全報告（2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日）

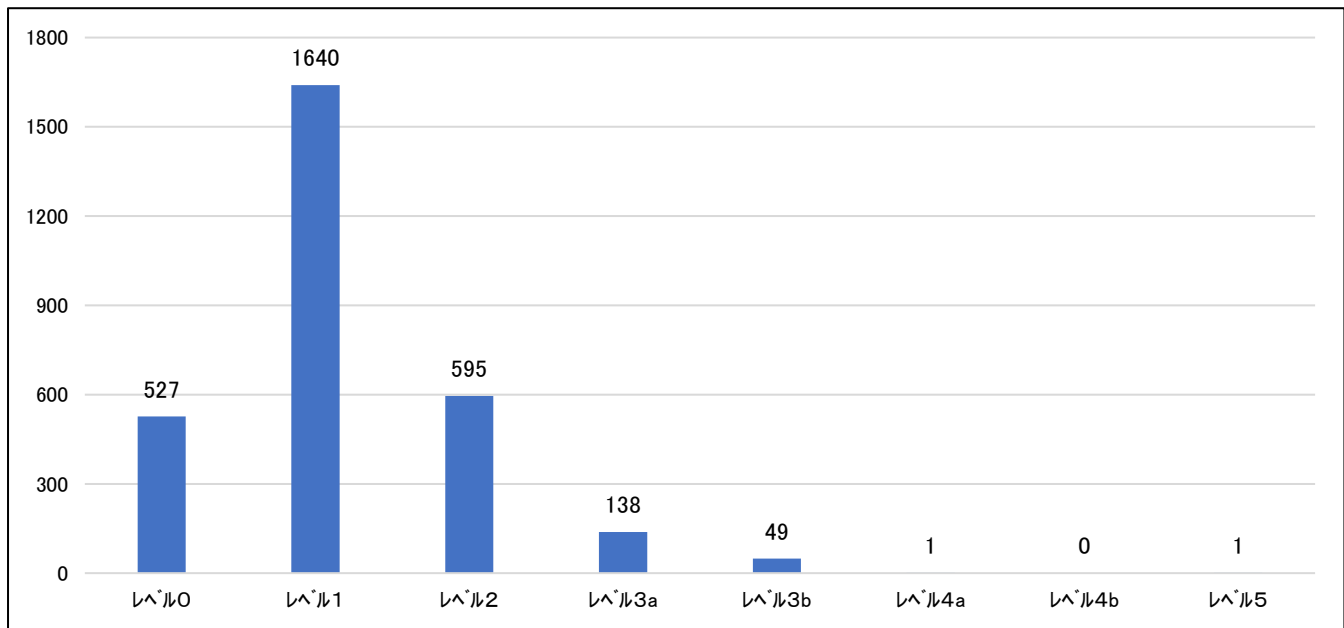
医療事故報告件数：2951 件（昨年度：3056 件）

・インシデント:2900 件（昨年度 3029 件） ・アクシデント:51 件（昨年度 27 件）

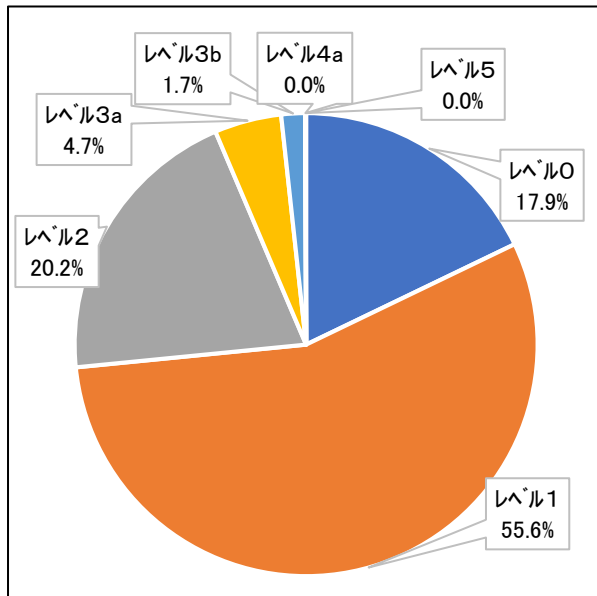
医療事故報告は、病床数の 5 倍以上の報告が望ましいといわれ、当院は 1845 件（153 件/月）が目安となる。
2025 年度の医療事故報告件数は 2951 件であった。病床数 369 床の約 8 倍であり、望ましい報告数を上回った

1. 報告書件数：2951 件

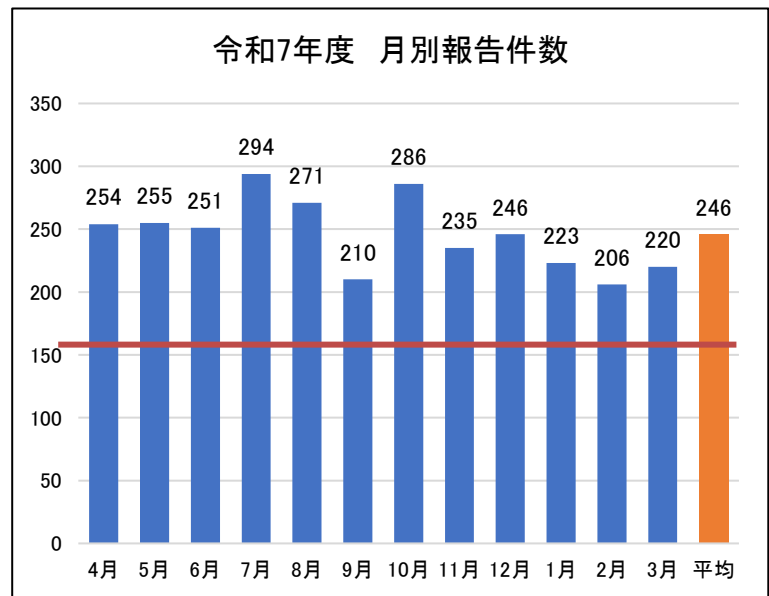
身体影響度レベル別報告件数



身体影響度レベル別割合



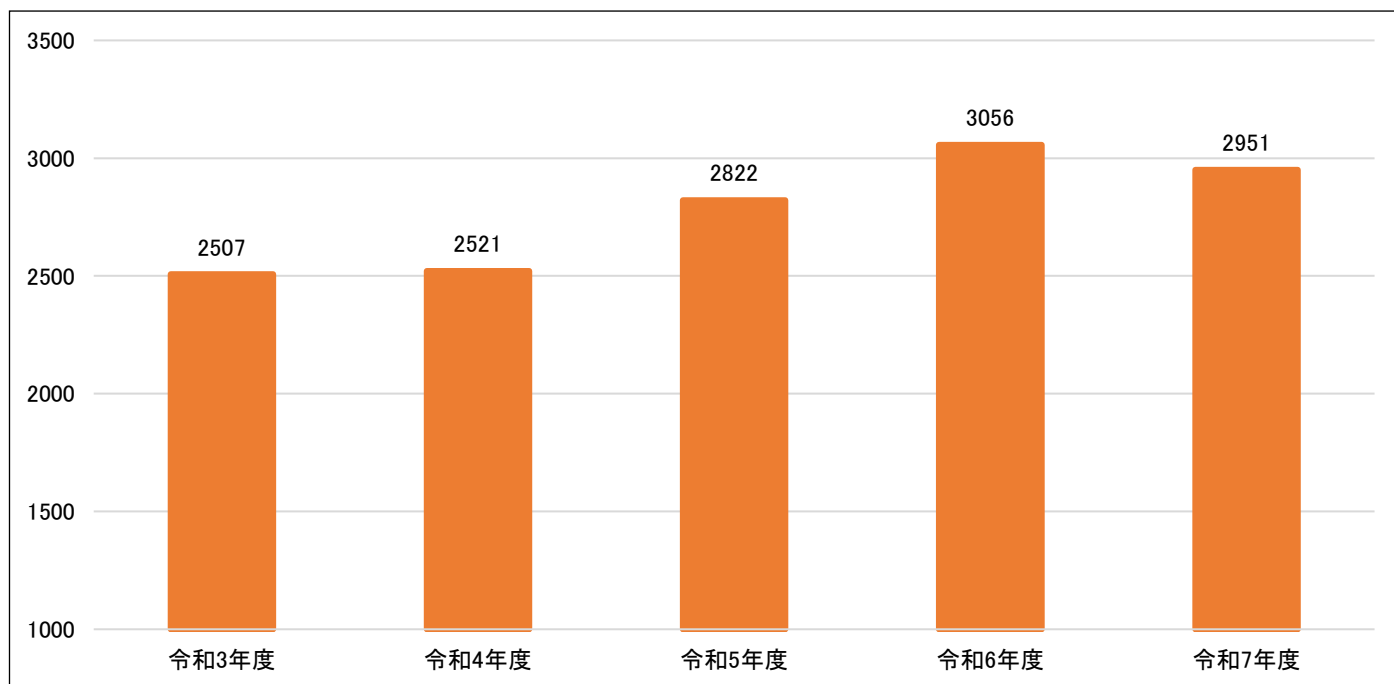
月別報告件数



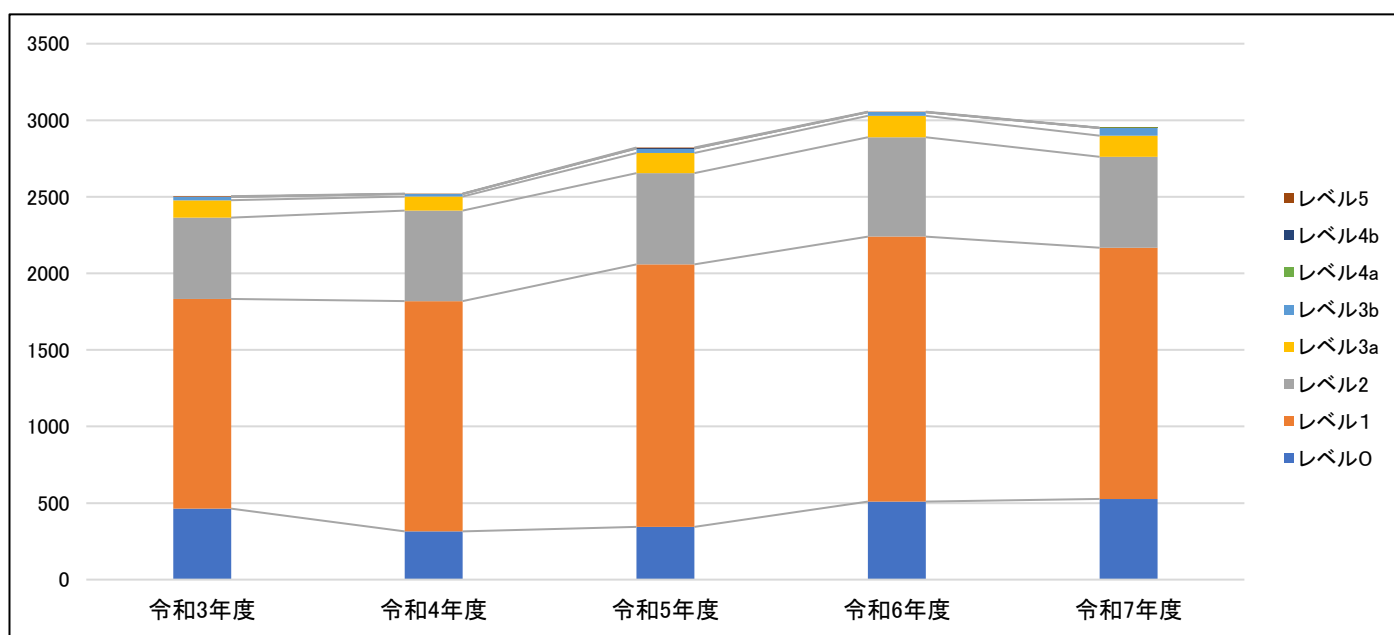
身体影響度レベル別報告は、レベル 0 報告数が、昨年度より 18 件（1.2%）増加した。報告数は増加傾向にあり、報告する文化の醸成が促進されてきたことが示唆された。

身体影響度レベル 3b 以上は、51 件（1.7%）であり、昨年度より 24 件（0.8%）増加した。報告件数は増加したが、12 件は同一事象の複数報告であった。

2. 報告件数：年度別推移

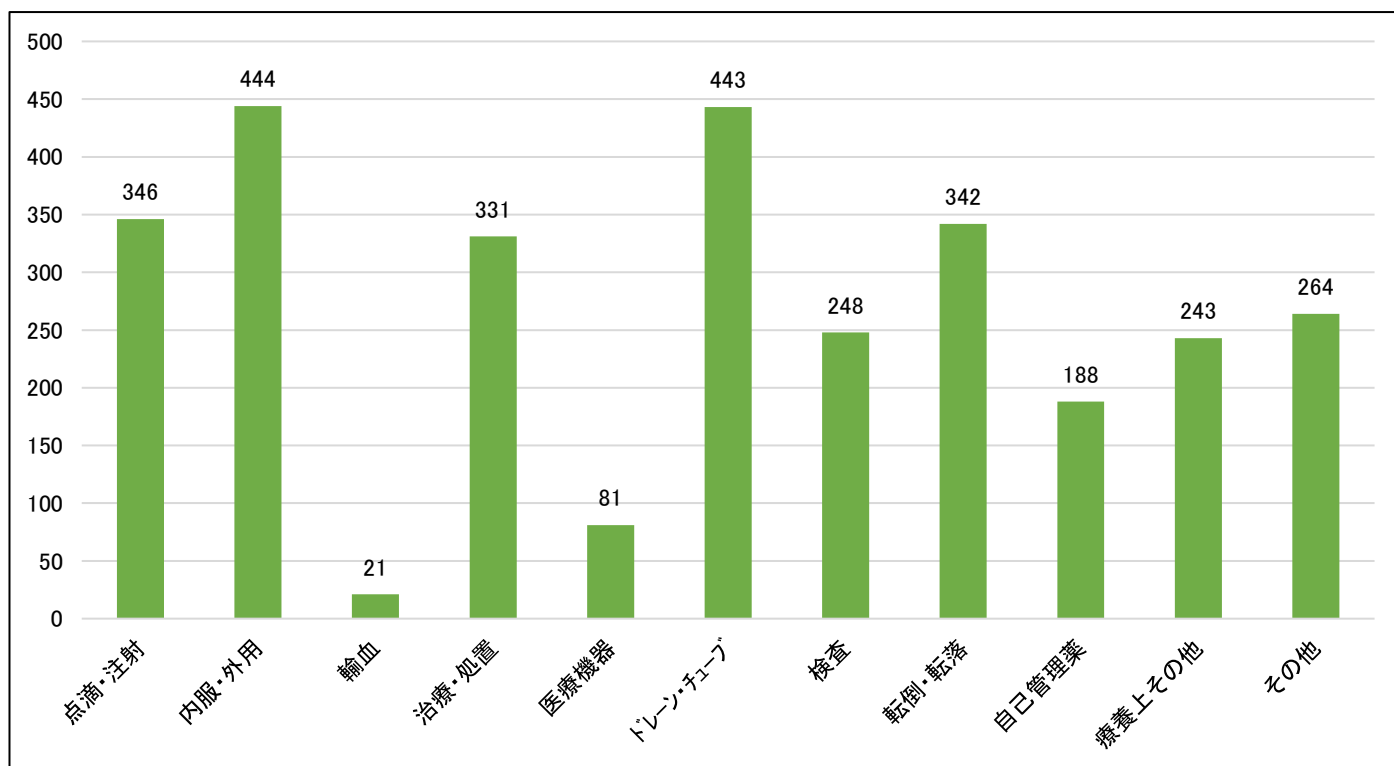


身体影響度レベル別件数

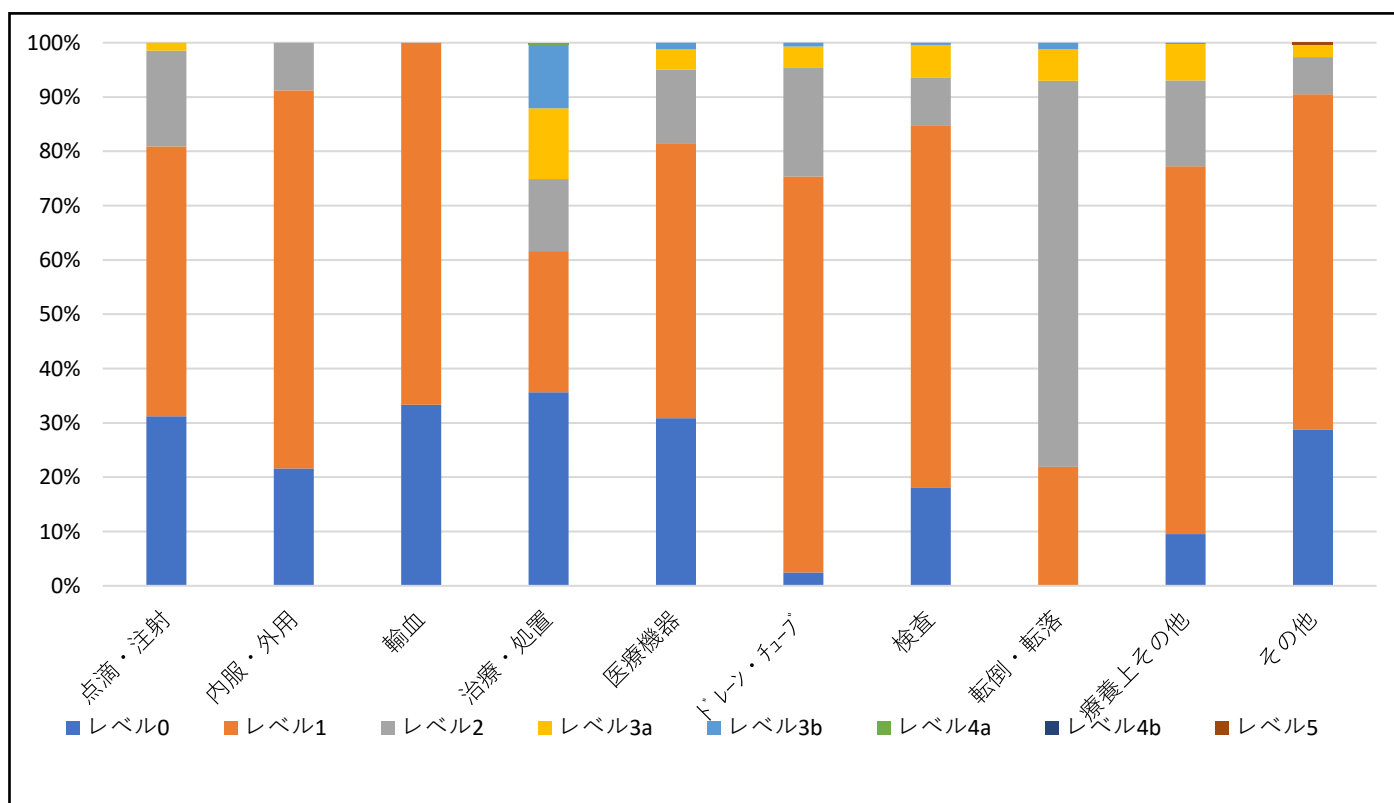


報告件数は2024年度から105件減少した。影響度レベル別推移は、レベル0報告が増加し、レベル1～2の割合が減少した。レベル0報告が増加することにより、身体的影響のあるレベル1～2が減少することが示唆された。報告する文化の醸成が促進し、事故につながる前の気づきが増え未然防止につなげることができた。

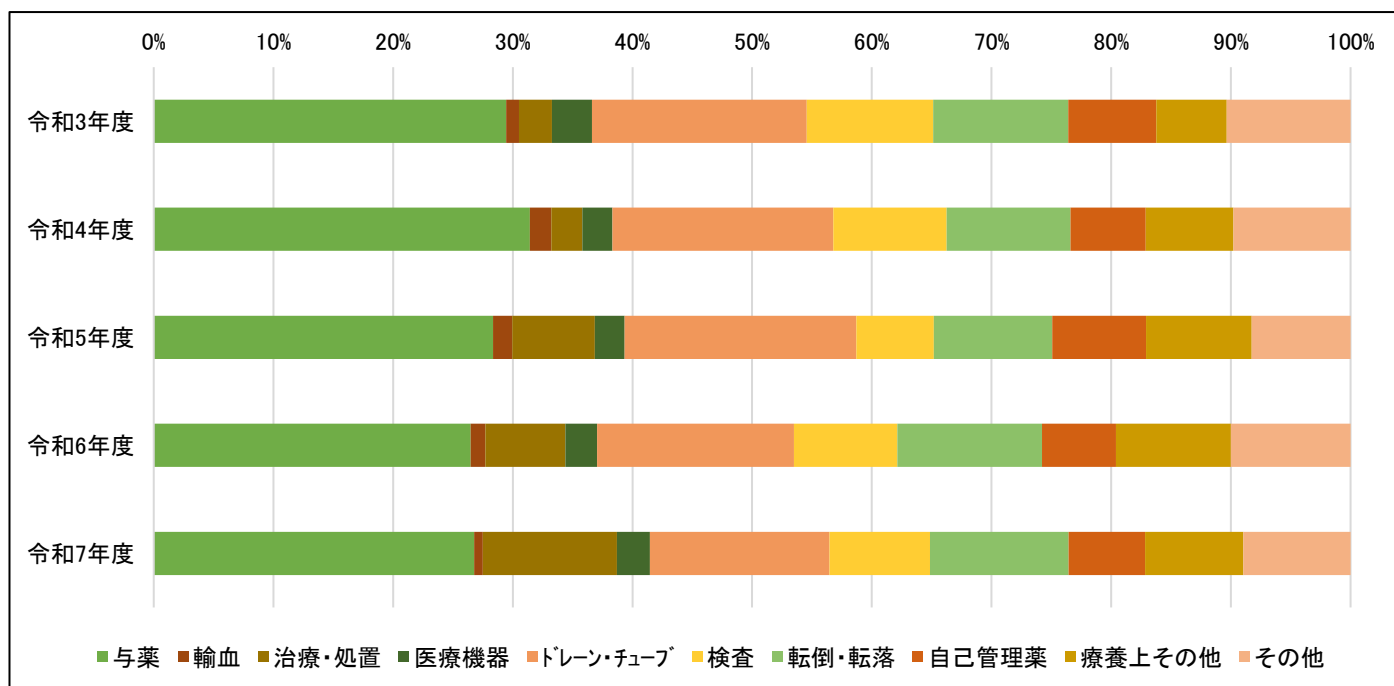
3. 報告内容別



報告内容別：身体影響度レベル割合

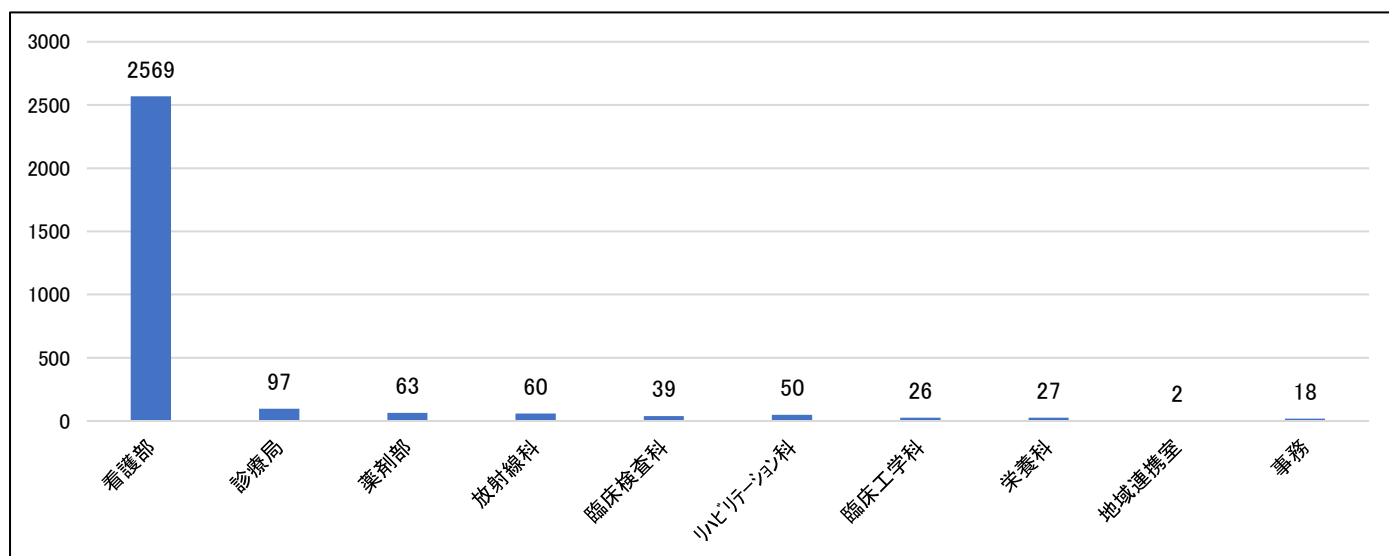


報告内容別：年度別推移

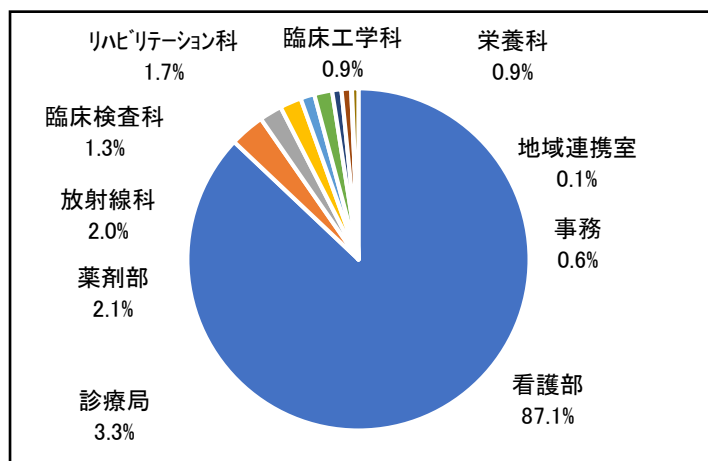


報告内容別は、昨年同様「薬剤」に関する報告数が多く、過去 10 年間でも同じ傾向にある。再発防止に向け、多職種で検討・予防策を実施できる体制を構築することが継続した課題である。

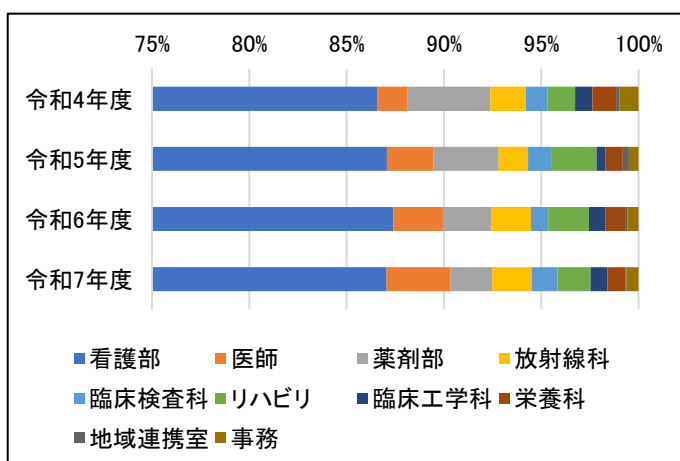
3. 報告者別件数



報告者別割合



報告者別割合推移



報告者別割合は、大きな変わりはなかった。

医師の報告割合は、昨年度の 2.6%から 3.3%に増加した。また、過去 5 年間で最も多い報告数となった。合併症に関する報告が容易にできるように、書式を追加したことも、増加につながったと考える。

医療安全文化の醸成を図るうえで、医師の報告は重要である。報告する文化を推進するため、取り組みを継続していく。